教材選定・学習ロードマップ

教材選定・学習ロードマップ

1,000円プランのサンプル｜2026年11月15日更新。架空の学習者・診断結果による例です。実際の内容は診断と学習時間によって異なります。

あなたに合う教材と取り組む順番をご案内します。教材は別途ご用意ください。

あなたの目標と学習時間

> 目標：750点
> 時期：6か月後
> 学習時間：60分／日

今回の教材を選んだ理由

今回の結果だけでは、標準以上の問題で文法と意味の理解が安定しているかを十分に確認できていません。「TOEIC L&R テスト 英文法 出るとこだけ！」で短文の根拠と意味を確かめてから演習量を増やします。

教材を選ぶときに

「○か月でTOEIC○○点！」など、短期間での点数達成をうたう教材を、今回の計画のために買う必要はありません。教材を増やすより、英文の意味を理解して復習することを優先しましょう。

当面取り組む教材

1. TOEIC L&R TEST 出る単特急 銀のフレーズ
単語／必要な購入候補

2. TOEIC L&R テスト 英文法 出るとこだけ！
主教材：文法・Part 5／手元になければ購入候補

まず単語帳＋主教材を中心に始めます。手元にある本は重複購入せず、補助教材・後で使う教材は必要になってから。教材の版が違うだけで買い直す必要はありません。

教材の順番と次へ進む条件

単語

「TOEIC L&R TEST 出る単特急 銀のフレーズ」を使います。新しい語だけでなく、前日に学んだ語を思い出せるかも確認しましょう。

文法・Part 5

「TOEIC L&R テスト 英文法 出るとこだけ！」。解説自体が難しい場合だけ「中学英語をもう一度ひとつひとつわかりやすく。」または「大岩のいちばんはじめの英文法」を補助に使います。両方を最初から買う必要はありません。

リーディング

今は別の読解教材を追加しません。まず文法教材の英文を和訳し、意味を理解して音読することを優先します。「TOEIC L&R テスト 英文法 出るとこだけ！」で意味と根拠を説明できるようになったら「公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リーディング編」→内容の根拠を説明できるようになったら「公式TOEIC Listening & Reading 問題集 9」から、未学習の巻を順番に進めます。版の違いだけで買い直しません。

リスニング

リスニングは未確認です。苦手と断定せず、最初の短い音声で音と意味のどちらに困るかを確認します。入口は「公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リスニング編」。理解が安定したら公式問題集へ。

文法教材の使い方

①まず解説をしっかり読む → ②対応する問題を解く → ③なぜその答えになるかを確認し、英文の日本語訳をきちんと取る → ④意味を意識して音読する → ⑤翌日以降に同じ英文の意味と根拠を再確認する。正解できるだけで完了にせず、解説の丸暗記にも偏らないでください。音読の速さより、意味を理解して読めることを大切にします。

目標時期から考える全体の進め方

目標時期まで約6か月。前半（約2か月）は基礎の理解、中盤は文章・音声、最後は公式問題で確認します。教材を終える日付やスコア達成を保証する区切りではありません。

理解を固める → 短い文章・音声へ広げる → 公式問題集を9以降の未学習巻から順に使って演習する、という順番です。進む条件を満たしていなければ、予定の週を迎えても復習を続けます。

最初の1か月の計画

単語帳 12分／文法（解説・問題・和訳・音読） 33分／同じ英文の音読・復習 9分／振り返り 6分。合計60分。単語帳は毎週この時間を確保し、新しい語の学習と既習語の復習を行います。時間が短い日は単語と主教材を優先し、音読や振り返りは主教材の学習中にまとめて行いましょう。長時間取れる場合も休憩を挟み、集中できる範囲で調整します。

第1週

「TOEIC L&R テスト 英文法 出るとこだけ！」の最初の項目から、解説→問題→和訳→音読を少量ずつ試します。単語は「TOEIC L&R TEST 出る単特急 銀のフレーズ」の知っている語・知らない語を確かめ、未知語が多すぎる範囲を無理に進めません。
見直し：量より、解説を読んで意味を説明できるかを確認します。翌日に同じ英文の意味を取れるか試し、時間が足りなければ新しい内容を減らします。

第2週

第1週で迷った項目を復習してから「TOEIC L&R テスト 英文法 出るとこだけ！」の次の項目へ。問題に正解しても、英文の日本語訳が曖昧なら終わりにせず、解説に戻って音読します。単語は新しい語と前日分の確認を組み合わせます。
見直し：翌日にも日本語訳と答えの根拠を説明できるか確認。難しい項目が残る間は教材を増やしません。

第3週

同じ文法教材の少し前の項目を混ぜて確認します。「公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リーディング編」を始めるのは、学習した文法事項と英文の意味を自分で説明し、音読できるようになってからです。まだ不安なら文法を続けます。
見直し：進める条件は理解の再現です。正答率だけや「3週目だから」という理由で次の本へ移りません。

第4週

新しい内容を増やしすぎず、最初の3週間で迷った項目を確認します。初見の同程度の英文でも日本語訳と根拠を説明できるか、意味を理解して音読できるかを試します。
見直し：月末に理解・負担・継続できた時間を振り返り、翌月の教材と配分を見直します。750点や期限は本人の合意なく変更しません。

迷わず取り組むための学習ガイド

単語帳：覚える・思い出す・確かめる

「TOEIC L&R TEST 出る単特急 銀のフレーズ」は最初から取り組みます。まず10〜30語程度を読み、音声で発音を確かめ、意味を隠して思い出してください。翌日は前日の語を先に確認し、思い出せない語に印を付けます。新出は1日最大50語まで。時間が短い日は新出を減らし、復習の時間を残します。週末は印のある語を中心に、英語を見て意味を言えるか確認しましょう。単語だけでなく短い用例の意味も確かめます。

文法：1回の学習の進め方

「TOEIC L&R テスト 英文法 出るとこだけ！」のDay 1 Topic 1から順番に進めます。1 Topicの解説とPractice Testに約30分を目安にしますが、時間制限ではありません。単語学習後の時間に収まらなければ、解説の理解と問題の確認を複数日に分けます。解説の根拠、問題の和訳、意味を意識した音読まで行ってください。

復習：正解した問題も確認する

間違えた問題には「単語の意味」「文法の使い分け」「読み違い」など短い理由を添えます。正解したものの根拠が曖昧だった問題にも印を付けます。週の後半に印のある問題を解き直し、答えを隠して理由と和訳を説明してください。答えの位置を覚えただけなら、理解できたとは数えません。音読は意味を理解した英文で、ゆっくり正確に行います。

読解とリスニングへ広げるとき

読解では設問の根拠を本文に戻って確認し、読みづらかった一文を主語・動詞・修飾部分に分けて読み直します。音声はまず聞いて内容を確認し、次にスクリプトで意味を理解します。その後、ゆっくり音読→スクリプトを見ながら0.8倍程度から原速まで重ね読み→音源と同じ速度で音読、の順に練習します。初級〜中級ではシャドーイングを無理に行う必要はありません。Part 1・2も省略せず、短い音声から確かめましょう。

難しい・遅れたときの調整

予定どおりに進まなくても、翌日に倍の量を詰め込みません。次回は前回の復習から再開し、その日の時間に収まる量へ新規を減らしてください。意味が分からないまま音読や問題数だけを増やさず、難しい説明は短い例文に戻って確認します。

月末に確かめること

①答えを隠して意味と根拠を説明できるか、②少し違う例文でも同じ知識を使えるか、③予定した時間で無理なく続けられたか、を確認します。安定した分野は次へ進み、不安が残る分野は復習を続けます。このプランは教材選定と学び方の案内です。毎日の章・問題範囲を割り当てる30日間スケジュールや継続的な採点・計画更新は含みません。

今日の一歩

今日は「TOEIC L&R テスト 英文法 出るとこだけ！」の最初の項目の解説を読み、問題を少量解いて、日本語訳と音読まで試してください。終えた量より、翌日にも意味を取れるかを確認しましょう。

詳しい問題や解説は、お手元の教材をご覧ください。計画はご希望の目標・時期をもとにしていますが、点数や達成時期をお約束するものではありません。画面を閉じる前にPDFを保存してご利用ください。